

支 援

町田市教育委員会

指導課長 小池 慎一郎

2011年度 第1回学校支援連絡会 報告

去る6月30日(木)、町田市教育センターにおいて、学校支援連絡協議会の解散が決定されました。

それに引き続き、指導課直轄事業としての学校支援連絡会が正式に発足しました。

当日は、富川快雄 教育委員長をはじめ、2名の小中校長会担当校長、連携団体の代表者8名、ボランティアコーディネーター48名の、総勢68名の参加をいただき、予定どおり二つの会合を行うことが出来ました。学校支援センタースタッフの昨年度の大きな課題として、いかに新組織を順調に立ち上げるかがありました。実質的に大きな違いはありませんが、連絡協議会の設立にご尽力くださった方々や共に試行錯誤しながら活動していただいたボランティアコーディネーターの皆様のごことが頭に浮かび、解散が決定され新組織が発足したときには感慨深いものがありました。

学校支援連絡会では、冒頭、全校スクールボード校になりその中心としてのボランティアコーディネーターの活躍に期待するという富川教育委員長の力強いご挨拶があり、身の引き締まる思いをしました。

連絡会委員としての委嘱書を、今年度から正式に活動を始めた図師小学校の駿河委員に、ボランティアコーディネーターの皆様を代表して富川教育委員長から手渡していただきました。

最後に、当日ご出席の連携団体の代表者よりご挨拶をいただきました。どんなことを連携できるか、その方法はどうかなど具体的なお話があり、今後の活動に有益なものでした。

新たな気持ちで、全校配置となったボランティアコーディネーターの皆さんとともに、今年度もコミュニケーションを絶やさず学校支援・ボランティアコーディネーター支援に徹して活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。



サマースクール 各校で開催される

今年度も、かなりの小学校で普段はなかなか出来ない体験を重視した学習への取り組みが「サマースクール」等で行われています。調べてみますと、17校で実施され、年々、盛んになってきたように思います。学校支援センターとしまして、なるべくたくさんの小学校の取り組みを参観させていただこうと行動中です。

サマースクールの他にも、授業ではできない体験を重視した活動や補習学習に取り組んでいる学校もあります。いろいろな取り組みがあってよいと思います。特に今年度は、中学校での補習学習の広がりを感じました。以下に、これまで参観した小学校の様子をお知らせします。

【南つくし野小学校 サマースクール】

2年目を迎えた南つくし野小学校のサマースクールは、講座数19で2日間行われました。

人気が高かったのは「紙飛行機（写真）」「お菓子作り」「万華鏡」だったそうです。興味深かったのは「南つくし探検隊」です。保護者が地域の方から聞いた南つくし野の歴史を、子どもと一緒に探り出していく企画です。人材・地名・建物・自然環境を含めて地域すべてが教材だと思いました。学校支援地域理事の方々も参観されていて、新しい動きを感じました。



【図師小学校 サマースクール】

開校して3年目の図師小学校ですが、サマースクールは3回目で、4日間34講座行っています。教員、保護者、地域の方（健全育成忠生第一委員会）が推進母体となって、着実に実績を積み重ね地域とのつながりも強くなってきているようです。

人気があるのは「クッキー作り」や「蒸しパン作り」、「ちぢみ作り」などの食べ物系だそうです。参観当日、ちょうど「フラワーアレンジメント」の講座を行っており、デザイン専門学校の先生と、花の色目が映えるようにと上下とも黒のおそろいの作業着を着た10名の学生さんが指導してくださっていました。

これまで学校支援センターでは、大学との連携を中心に推進してきましたが、専門学校との連携も出来るなど思いました。図師小学校では、今後日大三高の先生の指導や、来年度からは高校生のボランティア参加も考えておられるようです。町田高校生のボランティア参加を始める予定の中学校もあります。連携先の教育機関の多様化に注目しています。



【南第二小学校 わいわいランド】

南第二小学校のわいわいランド（サマースクール）は歴史がある取り組みで6回目を迎え、5日間で13講座が行われました。講師は地域の方、教員、健全育成委員会、保護者にお願いし、ボランティアコーディネーターが連絡調整に当たってきました。

高学年も含めて参加者が多く生き生きと活気にあふれていました。特に、教員が指導していた「めざせ！卓球名人（写真）」は、体育館で汗をかきながら楽しそうに取り組んでいました。また、「将棋名人をめざそう」「習字に挑戦」は、高齢者の方が熱心に指導してくださっていました。心温まるひと時を過ごしました。



【小山田小学校 サマースクール】

今年で2回目のサマースクールは、4日間で17講座が行われました。講師は教員、保護者、ボランティアの方(卒業生)です。算数の補習的な講座、25メートル完泳を目指すチャレンジ水泳、コンクールに出すポスター描き、保護者が講師の「サイエンス教室」、卒業生3人が講師の「ピタゴラスイッチ」などに特徴を感じました。ボランティアコーディネーターと学校・保護者・地域の方・卒業生が協働で作りに上げているサマースクールでした。



7/28(木)「サイエンス教室」光と色であそぼう

なお、夏休みの後半は、以下の学校でサマースクール等が開催されます。参観したい場合は学校に電話して、了解を得てから参観してください。来年度の参考にしたり、ゲストティーチャーとコンタクトをとったり出来ると思います。

【夏休み後半のサマースクール等一覧】

サマースクール	8/22~8/26	本町田小
ワクワクスクール	8/26	南第一小
サマーカーブ	8/8~8/12	小川小
サマースクール	8/25~8/26	鶴川第三小
サマースクール	8/23~8/26	忠生第一小
サマースクール	8/25~8/26	山崎小
サマースクール	8/23~8/29	小山ヶ丘小
サマースクール	8/25, 26, 29	小山中央小



7/9(土)「みなみおおやまつり」
スポーツ祭東京 2013 マスコット「ゆりーと」登場!

小山田中学校 職場体験事前指導「働く人の話を聴く会」の取り組み

小山田中学校では、6月24日(金)、中学2年生の職場体験の事前学習として、シルバー人材センターより2名の方をお招きして、「働く人の話を聞く会」の授業を行いました。お二人は元スポーツ実況放送のラジオのアナウンサーと消防士の方です。元アナウンサーの方は、鶴川第一小学校でも講師をやっていただきました。お二人は元プロですので、お話が臨場感にあふれ、生徒たちは、職業=プロとはどういうものなのか考える良いきっかけになったことでしょう。

9月12日(月)より1週間、第1期の職場体験が行われます。その事前学習として、中学校ではさまざまな取り組みがなされると思います。ゲストティーチャー等、ご要望がありましたら学校支援センターにご連絡ください。

(小山田中学校より写真提供)



町田の淡水魚・水生昆虫・両生類・爬虫類・甲殻類・貝類

学校支援センター

夏を迎え水辺で遊ぶ機会も増える時期、草の笛レベル表に引き続き、町田の川の生物についての情報提供をします。

市内を流れる鶴見川を中心にその支流の恩田川、境川は、一時に比べかなり水質が浄化され、水生生物が復活しています。水に親しむための設備が不十分ですが、教材として十分活用できるまでになっています。

下記の水生生物は、ほとんどすべて実際に採集したものです。川での事故を防ぐ方法や水生生物について教えてください。また、ボランティア登録されていますので、活用してみたい学校は支援センターに問い合わせてください。

上流から中流にかけて生息 上段ほど冷水域を好む

魚類	水生昆虫	両生類	爬虫類・甲殻類・貝
カジカ 観察後放流を	オニヤンマ	ヤマアカガエル	サワガニ
アブラハヤ	イトトンボ類	ニホンアカガエル	
スナヤツメ 放流を	ヘイケボタル ゲンジボタル	カジカガエル	カワニナ
シマドジョウ	カワゲラ類	ツチガエル	
ホトケドジョウ(おばば)	カゲロウ類		
ヨシノボリ類	トビケラ類		
コイ	ミズカマキリ	イモリ	ヌカエビ
ギンブナ	シオカラトンボ	トウキョウダルマガエル	スジエビ
タモロコ	アキアカネ	シュレーゲルアオガエル	モクズガニ(もくた)
モツゴ<クチボソ>	イトトンボ類	ニホンアマガエル	アメリカザリガニ
オイカワ<ヤマベ>	ギンヤンマ	ウシガエル	アオダイショウ
カマツカ	ハグロトンボ	アズマヒキガエル	マムシ
ギバチ 観察後放流を	シマアメンボ		ヤマカガシ
ヨシノボリ類	タイコウチ		シマヘビ
ウグイ<ハヤ>	マツモムシ		
ナマズ			サカマキガイ
ドジョウ			ヒメタニシ
メダカ			マルタニシ
ブラックバス			台湾シジミ類
ブルーギル			ヒメモノアラガイ
カムルチー<ライギョ>			ミシシッピーアカミミガメ
カダヤシ			クサガメ
			イシガメ

※()は町田での呼び名 < >は関東地方での呼び名

【監修】神奈川県水産技術センター内水面試験場 勝呂 尚之